

街の保健室

テーマ「感染性胃腸炎について」

胃、小腸、大腸に炎症が生じる「胃腸炎」。その中でも感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などの病原体が腸に入って感染し、腹痛や下痢、嘔吐などの症状が起こる病気です。

感染性胃腸炎の症状

下痢、悪心、嘔吐、腹痛、食欲不振で発熱。小児では、嘔吐、成人では下痢が多い。ただし、原因となる病原体や、病原体の量、感染した時の体調などにより、食欲不振や悪心程度で自然に治る場合もあれば、激しい嘔吐や水様の下痢など強い症状が出ることもあり、個人差があります。特に小児や高齢者では、下痢によって脱水症状になることもあるため、油断は禁物です。感染性胃腸炎は「胃腸風邪」「お腹の風邪」とよばれることがありますが、風邪のような咳や鼻水といった症状は出ないことがほとんどです。

感染経路は？

感染している人から感染する「接触感染」(人から人へ)と病原体に汚染された食物などが口に入ることで感染する「経口感染」(食べ物から人へ)があります。

接触感染の場合、下痢や嘔吐物の処理や消毒が不十分な場合に、手指に付着して口から入ったり、乾燥してほこりと一緒に吸い込んだりして体内に取り込むことで感染します。また、家庭や施設などで、感染している人との接触や飛沫から感染することがあります。

経口感染の場合、ウイルスや細菌に汚染された食物を十分に加熱処理せずに食べたり、水を飲んだりすることで感染します。また、感染している人が調理した食物を食べることで感染します。

感染予防のポイント

手洗い・消毒

下痢の場合

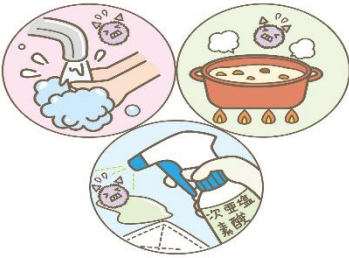
便を扱った手から口の中にウイルスが入り感染します。頻回に手を洗ってください。



嘔吐の場合

吐物が床に落ち、乾いてから空気中に飛び、それを吸い込んで感染することがあります。吐物の処理する人は、手袋・マスク・エプロン(使い捨て)ペーパータオルで周りから中心に向けて拭き取り、0.1%次亜塩素酸ナトリウム(ミルトンやハイター)などで覆い10分後に拭き取る。

☆消毒用アルコールはノロウイルスには効果がないので注意。



- ①トイレの後や調理・食事の前は必ず石鹸で手を洗う。
- ②食品の十分な加熱・ノロウイルスは85℃以上90秒で死滅する。



対策を行い感染症を予防しましょう。気になることがありましたら、

早めに医療機関を受診してください。